

第4回「歩きタバコをなくそう！新宿フォーラム」会議録概要

1. 開会（座長）
2. 前回までの概要（事務局）
3. テーマ設定
 - (1) いただいた提案の発表（事務局）
 - (2) 新宿区の基礎資料の説明（事務局）
4. 会議ルールの確認（座長）
 - ・配布された資料「具体策の提案」に載っているテーマに従って、1テーマ約20分で進めていく。
 - ・発言の際には、在住・在勤・繁華街関係者・来街者等の別を言ってから発言する。
5. 全体討論

《テーマ1：効果的な宣伝・啓発》

【大通り商店街・男性】もっと区が来街者に歩きタバコをやめるよう知らせる努力をしてほしい。駅から歩道に出てやっとタバコが吸えると思っている人に、商店街のものが注意すると本当にがっかりされるからだ。「具体策の提案」の中で共感を受けたのは、他区と協働してテレビスポットでPRするというものだ。それから、「声が出るポスター」をぜひつけてほしい。それを紹介したいと思い、仲間を連れてきた。

【買い物などで来る来街者・男性】音声の出るサインプレートを販売しているので、見本を持ってきた。（横浜で視覚障害者にトイレを知らせるサインプレートを示す。）

【大通り商店街・男性】これは人が2メートル50のところ付近と近づくと声が出るものだ。駅から出てきた人に対して効果的だと思う。

【在住で在勤・男性】手の中にタバコを隠して歩いていれば安全というものではなく、タバコは火よりも煙の方が問題。

【在住・男性】大学では歩きタバコについて真剣に考えているようなので、大学にPRすべき。企業に働きかけるために、区の職員が企業の朝礼などにでかけていくのはどうか。ここに「暴力団トップに要請する」という意見があるが、これは非常に難しいと思う。

【在勤・男性】このフォーラムには歩きタバコが嫌だと思える人しか来ていなくて、実際に歩きタバコをしている人たちは来ていないと思う。ここに来ていなくて、歩きタバコを注意してもうさがるような人たちにどうやって分かってもらうか。歩きタバコをしている人と嫌がる人との意識のずれが問題だ。先ほどの暴力団に要請するという提案は私のものだが、ひとつのアイデアだと思ってほしい。

【在住で在勤・女】タバコのパッケージには、喫煙者が自分以外の人の健康被害を認識できるようなものにしてほしい。あと、子供の見ているところでは喫煙をしないでは

しいので、「歩きタバコをやめましょう」というのもいいが、「喫煙所以外は全て禁煙です」としたほうがいい。

【在勤・男性】新宿はかなり効果を上げていると思う。もっと高いレベルを求めるなら、「歩きタバコ厳禁」というような分かりやすい言葉を用いるのがよい。

【西口商店街・男性】今さら具体策を聞いても仕方がない。区がどうやって予算をつけてやっていくかの問題だ。もっと集中的にキャンペーンをしてほしい。そういう場所を増やしていった面的に拡大していったほしい。

《テーマ2：新宿に適した分煙の方法》

【座長】喫煙スポットの設置場所に関して、ご意見はあるか。

【在住・男性】先進区と言われる渋谷は副流煙がもうもうで、分煙になっていない。分煙とは、受動喫煙を防がないと意味がない。分煙のための場所もお金もないのは分かるが、税金を使うのではなく、喫煙者やJTが費用負担をすべき。

【来街者・男性】新宿は安心して歩ける場所が少ない。受動喫煙を防止してほしい。

【在住で在勤・女】私は分煙にしてほしいと思う。タバコの煙の有害性は換気扇や空気清浄機では除去されきれないと言われている。JT等に煙の浄化装置を作っていただき、公の場所に無償提供していただきたい。健康増進法25条から見て、今の新宿区の方煙の形では意味がない。

【男性】今の空気清浄機のことに関して、原子力発電所に性能のいいものがあるが、費用がかなりかかる。喫煙者に費用負担してもらったらどうか。

【来街者・男性】千代田区に勤務しているものだが、千代田区は条例が施行されたとたんに駅前の煙がピタッとやんだ。千代田区は喫煙所をつくっていない。新宿区でも喫煙所を作らなくてもできるのではないかと。電車を降りたとたんに吸い出すのが一番の問題だが、喫煙所を作らなくてもなんとかできるのではないかと。

【在勤・男性】新宿区に適した方法などなく、全国共通だと思う。首都圏から人が集まるこの新宿で区長が先頭に立ち、新宿発で歩きタバコをやめましょう、と全国へ広げてほしい。

【座長】分煙ではなくて禁煙で解決できるという意見が何人か出ているが、分煙のほうがいいという意見の方はいらっしゃるか。

【男性】分煙の場所も必要だとは思いますが、あんまり作る必要はないと思う。

《テーマ3：新しいルールづくり》

【在住（まちづくりの会）・男性】まちづくりの会で話していることを申し上げる。

1. 歩行喫煙を禁止する。
2. 特別指定地域での歩行喫煙とポイ捨てに、過料（2千円）制度を設ける。
3. 従来のポイ捨てに対する罰金制度は存続させ、悪質者は区が告発すると条例に

うたう等、罰金制度をリフレッシュする。

ここまではまちづくりの会で提案していることで、これに私が付け加える。

4．例えば、歌舞伎町とその周辺地区を安全、安心、美化の特別指定地域とし、この地区内では警察官と役所職員の業務を相互に乗り入れできるようにする。つまり、役所の職員だけでなく警察官も過料をとれて、警察官だけでなく役所の職員も罰金をとれるというふうに。

5．4の地域を拡大していく。

【男性】人のことを考えない自己中心的な人が増えている。こういう世の中にしてはいけないというメッセージを大人から発信すべき。対策はこれだけたくさん出ているのだから、この中から経済的で効果のあるものを取り上げていけばいいと思う。新宿区長に、自己中心的な行動をやめるようにというメッセージをだしてほしい。

【在住・まちづくりの会・男性】駅の出口の灰皿を撤去したら、駅周辺の吸殻は減ったが、ポイ捨てが広範囲に広がったのも事実だ。啓発の言葉の工夫が必要だ。「あなたはいいい人だから歩きながらタバコを吸うようなことはしないでしょね。」というような言葉を使うなど、心に訴える工夫がいる。声をかけにくい相手には目で訴えるのも必要なので、腕章・チョッキ・ゼッケン等に啓発の言葉をつけてそういう人の前を歩くのも、キャンペーンのひとつの方法だと思う。

【男性】ルールかマナーかというスタンスが決まらなると議論にならない。条例でやるんだと腹をくくることが大前提だ。過料を取る場合の公平性というのが話題になるが、見つけたら必ず取るということが公平性になる。過料を取る千代田区と、渋谷区や港区の現実を比べれば明らかだ。

【男性】もしルールをとったとしたら、過料を取るのが暗黙の前提になっているが、新宿のような繁華街で歩きタバコをすることは犯罪なので、過料ではなく罰金をとるべきだ。

【在勤・女性】一刻も早く歩きタバコがなくなってほしいので、実現できそうなことから一つずつ、今すぐできることから始めてだんだん厳しくして行ってほしい。最終的には厳しい条例をつくるべきだが、それを実現するまでに、今できる分煙を進めてほしい。

《テーマ4：地域での役割分担と協力体制》

【埼玉在住・男性】タバコの毒性を認識してほしい。ボランティア参加は大切だが、子供の参加は危険すぎる。

【在勤・男性】高田馬場や歌舞伎町などでクリーンキャンペーンをやっているが、参加者は区の呼びかけで来た商店会などの人が多い。地域で社会奉仕活動をやりにくい雰囲気がある。警察官は人員不足だから、歩きタバコのために罰金をとるくらいなら他のことをやれということになると思うし、過料を取ることになったら区の職員の

人件費がかかる。要するに税金が使われる。それよりも私は、議員の方たちにお願
いしたい。新宿の美化のために応援してくれとまちの人たちに議員が声をかけて、
グループを作って清掃すれば税金がかからない。

【座長】新宿に通っていらっしゃる方から、役割分担についてご発言は？...では、考えて
いただいている間に、新宿区に在住の方から、在住の立場でどういうことができる
か、ご発言は？

【在住・男性】役所主導で役所のルールに乗った活動でなければ、地域の人たちが協力で
きないというスタンスは捨てていかなければならない。「協働」という言葉が宙に浮
いているような気がする。

【座長】今日は参加者がそれほど多くなく、ご参加いただいた以上一回は発言していただ
きたいので、まだ発言されていない方に私のほうからご意見を伺いたいと思う。ど
うぞ。

【女性】私は千代田区方式のルールがいいと思う。

【座長】隣の方。

【在住・女性】ルールを決めてもらったほうがいい。

【座長】区議の方がお出でなので、どうぞ。

【区議・男性】議員によってやりたいことのテーマが違うので、先ほどの提案は難しいと
思うが、区議にぶつけてみるということはやってみてもいいと思う。

【座長】その後ろの若い女性の方。

【上智大学生・女性】大学で路上喫煙の規制について調べているが、今回と2回目のフォー
ラムに参加して、新宿の人たちの意見が聞けて有意義だった。タバコを嫌う人が
多くて、タバコが好きな人が理解を求めるのが難しいと感じた。だから分煙という
手段でないと無理だと思う。

【大通り商店街・男性1】議論がオール・オア・ナッシングというか、ゼロか全てかみたい
になっているが、基本的には段階的にやっていくしかないと思う。タバコを1箱
2千円にするというのを新宿から広めていってはどうか。そのくらい高くすればお
いしく感じる場所で吸いたくなって歩きタバコが減るのでは。

【在住・まちづくりの会・男性】歩きタバコは絶対にやめましょう、という大きなのぼり
があるが、もっと小さくていいから数を多くして間隔をできるだけ狭くして立てた
方が、目に訴える効果が大きいと思う。

【男性】1箱2千円に賛成だが、タバコ事業法をかえないと無理。先ほど「タバコが好きな
人」「嫌いな人」という言い方があったが、好き嫌いではなくてニコチン依存という
視点を持ってほしい。役割分担という観点からいうと、タバコ業者の役割は大きい。
タバコ業者の責任は行政がきちんと指摘しなければならない。なるべくタバコ業者、
JTの経費と人手で効果を挙げるようにしてはどうかと思う。

【千代田区職員・男性】地域での役割分担という話が最後に来ているわけだが、先月も触

れたように、このことは条例で罰則を設けることより重要なポイントだと思う。現場にいて思うのは、役所だけでは限界があるので地域と協力し、通勤者や学生も取り込んでやるのが有効だということだ。役所の決断も必要だが、まちの決断も必要だ。

【横浜市在住・男性】健康増進法が施行されて駅構内が終日禁煙になっている中、新宿区に分煙は流れに逆行していると思う。問題の根底である受動喫煙そのものを問題にしてほしい。

【男性】車の排気ガスと同じように、あまり害のないタバコをつくってほしい。現に、あまり煙の出ないタバコが出ているので、そういうのに変えていただきたい。

【座長】子供たちを巻き込むことについての提案が配布資料の中にあるが、子供たちを参加させるのは危険だという意見があったので、このことについてご意見のある方。

【女性】路上で子供たちに吸殻を捨わせるなどというのは危険だが、例えば学校の授業の一環として歩きタバコ防止のポスターコンクールをやるなど、やり方で子供を巻き込んだほうがいいこともある。

6．次回の設定（事務局）

7．閉会（座長）